



昨年から千人増、 年々大好評の農大祭

11月14日、秋晴れのもと農大祭が開催されました!開会前から長蛇の列で昨年来年千人以上も上回り、2500人ものお客様にお越しいただきました。テープカットと同時に、各販売テントは大賑わいで、農産物は1時間半ほどでほぼ完売となりました。模擬店も、餅つきや豚汁、ポップコーンの無料配布に焼きそば、綿あめ等、盛りだくさんの企画で、松代キャンパス最大のイベントを楽しんでいただきました。

若者たちよ、 いつも前向きに



農業大学校総合農学科
後援会長
伊藤 芳博

世界的な景気悪化の煽りを受け、日本国内も景気の低迷、雇用不安、少子化、諸物価の高騰、価格の低迷等、先行不透明の状況の中、追い打ちをかけるようにユーロの暴落、更なる景気の落ち込みが懸念されます。

また、日本のTPP(環太平洋連携協定)への参加問題も、賛否両論される中で、日本政府には目先だけの自由の利益だけを求めるのではなく、慎重な議論、対応を強く望むものです。

日本の農業を取り巻く環境もまた高齢化や農業離れ、それに伴う食料自給率の低下とすべにおいて厳しい状況であります。しかし、農業大学校の皆さんは、学校で学んだ技術、能力を活かし、これからの農業を担って欲しいと願っています。

二年生マーケティング視察

二年生は十二月十二日から十四日、農産物マーケティング論の实地研修で、大阪・京都・愛知の市場等を視察しました。

初日、黄昏時の大阪城天守閣に登り、大消費地大阪の歴史と雰囲気に触れました。二日目は、大阪市中央卸売市場では果実の手せりを見学、大阪鶴見花き地方卸売市場では花きの電子せり見学となにわ花市場大西社長さんの講義「卸売業者による産地開発、切花輸出の取り組み」を聴講しました。京都に移動し、四百年の歴史のある錦市場を視察、錦市場内の中央米穀西村社長さんの講義「産地、有機栽培にこだわり美味い米を全国へ」を聴講し、作物コースを中心に有意義な討論が行われました。最終日には、生産者会員制農畜産物直売所「げんきの郷」を視察しました。天然温泉、レストラン、交流農場などを備え、年間二百万人が来場するマンモス直売所の経営戦略について岡部社長さんからの丁寧な説明を聞くことが出来ました。



▲大阪鶴見花き地方卸売市場での電子せり



◀大阪市中央卸売市場で説明を聞く

コラム

プチかまくら

1月26日、久しぶりの大雪で松代キャンパスは真っ白に雪化粧しました。ところが、ふと気が付くとキャンパスの一角に小さなかまくらができています。北信地域の県民には珍しくなんともありませんが、最近では農業にあこがれ県外出身の学生もいます。彼らにとってはまさに初体験。授業が終わってから日暮れまでの短い時間にたちまちかまくらができてしまいました。



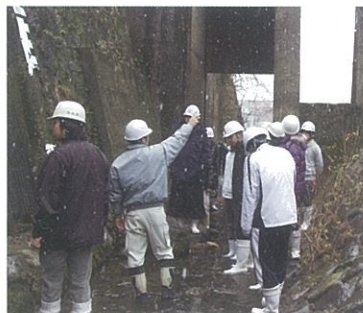
授場 登 農業土木

長野地方事務所 農地整備課



ヘルメットを被って地底体験? いろいろ、これも授業の一環です。十二月十九日に「農業土木生一七名は長野地方事務所の案内で県営の水路トンネル補修工事と農業用水路頭首工改修工事の現場を視察しました。水田農業には水が欠かせず、長野市内を流れる善光寺用水と善光寺川中島用水は二ヘクタールもの農地を潤していますが、昭和初期に築造された施設は老朽化も著しいために「壊れてから造り直す」のではなく「壊れてしまう前に補修する」ことで施設を長持ちさせる予防対策が必要となるのです。

なかなか訪れる機会がない県営事業での用水堰工事の現場を見学できるのも、県立学校であるメリットです。地方事務所の職員から専門的な土木用語の授業を聞いて「うーん、これも農業だな」と学生たちは農業の裾の広さに感動していました。





二年生プロジェクト発表会 二年間の実践学習の集大成

十二月七日、八日の二日間、松代キャンパスにおいて総合農学科二年生五十二名のプロジェクト発表会が開催されました。自分で課題を見つけだし、仮説を立て、試験を行い、確かめる。実践型の学習の一年間の集大成が、プロジェクト発表会です。

外部審査員をはじめ、教授陣が見守る中、学生たちは緊張して次々と発表を行いました。審査の結果、境澤賢二さんの「トルコギキョウの栽植密度の違いによる品質と収量」が最優秀賞に、岡田実さんの南水のジベレリンペースト処理の研究、丸山孝明さんの水稲の追肥と遅植えによる高温障害対策、北原浩樹さんのカリ追肥による小麦の増収の研究が優良賞に選ばれました。

信濃毎日新聞 で紹介

十二月十一日の信濃毎日新聞の「斜面」では境澤賢二さんの研究が「収獲増加のヒントになる」、他にも「発表は五〇件以上で、パソコン画面を投影していきばき説明してく」とプロジェクト発表会が紹介されました。

一年生生物学視察 農業と生物のつながりを学ぶ

二月八日。一年生五十一人は、西村輝雄先生の生物学の授業で、駒ヶ根市にあるモヤシを製造するサラダ・コスモの工場を訪れました。

「モヤシは九五%が水なので雪解け水がよいこの地を工場に選んだのです。安全性を確保するため、サルモネラ菌等の安全性を確保するためバイテクを利用した検査もしています」と説明を受けました。

また、シルク・ミュージアムでは、館長が群馬県で発明されたという昔の糸つむぎ機を用意してくださいました。シルクロード、伝統衣装、カイコの生態、バイテクと学生たちは、虫と人間が織り成す奥深いドラマに満足していました。



過去から未来へ

アンティーク農大

1913年(大正2年)に発足した農事試験場農事講習部から数えると農大は2013年(平成25年)4月で満100年となります。過去の農大生はどのようなライフスタイルをしていたのでしょうか。実は、現在、創立100周年記念誌と写真集を準備中なのです。先輩たちから当時の思い出や資料が寄せられているのですが、時間の壁を超え当時の学生たちの勉強ぶりや熱気が伝わってくるような気がします。



昭和24年に校名が農業技術員養成所から長野県農業講習所となり、25年に農芸化学実験室、26年には生活学部生活科が新設されました。当時は長野市中御所、現在のホクト文化センターあたりにありました。梅香栄司さん提供の自啓寮と授業の一コマ。キセルで喫煙をしています(左)。黒板には「化学実験」と旧字体で書かれています(右)。

農業が好きだから

農業を目指して

ようこそ!!先輩

学生たちが熱心に授業を聞いていますが、先生にしては、妙に若すぎ、貫禄がなさそうな気がします(失礼!)。それもそのはず、今日の講師は昨年に卒業したばかりの先輩、佐藤憲二郎さんだからです。農大卒業後、上伊那農業改良普及センターの技師として農家指導にあたる佐藤さんは「卒業してから学生時代に選択していた科目がいかに仕事に必要であったかわかった」と後輩たちにさとします。同時に講義にかけつけてくれたもう一人の先輩、大原広明さんは東京出身。長野県で農業をやりたいという、学生時代からの夢を実現し、今は信濃町にある農業法人で中核メンバーとして活躍しています。就職状況が厳しい中、卒業したばかりの先輩の授業は学生たちにも親近感があったようです。「勉強する意味がわかった。社会とのつながりが見えた」と感想もなかなか好評でした。

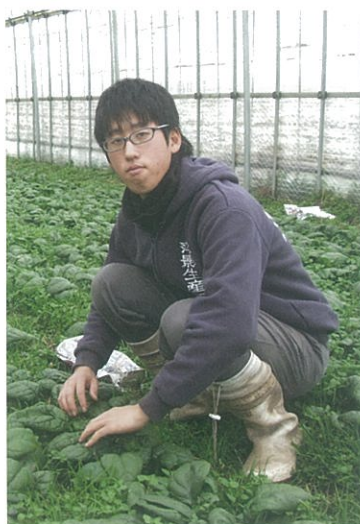


水田の水管理、野菜の施肥と仕事は忙しく、朝五時、四時半起き。四〇度、五〇度になる夏場のハウスも地獄だといえます。ですが、大原氏は楽しんでます。頑張れる背景のひとつには、農大時代の寮生活で築いた仲間との絆があるといえます。

「農業機械の資格や農業簿記と学生時代の授業は役立っています。教科書を今も読み返しています。また、先生が何気なく語った『人生訓』が今

大原広明(ひろあき)氏(平成二十二年年度農大卒)は、東京出身。中学の三年間を八坂村で過ごしたことが縁となって、農業に魅せられ、信濃町の農事組合法人、落影生産組合のスタッフとして活躍しています。

「地面の上の石と空の星ほどの違いです。ハードだとは覚悟していましたが、考えていた四倍以上でした」



も思い起こされ、TPPとかもありますが、農業はどんどん大切になっていくと思うのです。幸せな家庭を築く。高級車に乗る。なんでもいので夢を持って欲しいと思います。本当に農業が好きだ。これで飯を食っていくんだ、という覚悟があれば、充実していると思います」大原さんは力強く後輩にメッセージを送ってくれました。

平成23年度総合農学科卒業生の進路状況 2012.3.1現在

就農 【13名】	自営【4名】	●自家就農【4名】
	農業法人【9名】	●農事組合法人アグリコ ●(有)アマリファーム ●(有)黒澤農場(石川県) ●こもろ布引いちご園(株) ●(株)中野ファーム ●(株)長門牧場 ●(有)テールマウンテンファーム ●(有)ベジドリーム【2名】
就職 【26名】	公務員【2名】	●長野県【2名】
	農業協同組合等【11名】	●グリーン長野【2名】 ●塩尻市 ●信州うえだ【2名】 ●大北【2名】 ●ちくま ●中野市 ●みなみ信州 ●東北信酪農ヘルパー利用組合
	農業関連企業【10名】	●(株)アグロ信州 ●小沢そば(株) ●(株)関東甲信クボタ【2名】 ●(株)サカタのタネ ●(株)大地 ●(株)トマツ本店 ●長野興農(株) ●(株)プーランジュリー横浜 ●ヤンマー農機販売(株)
	その他企業【3名】	●(株)寿バイオ ●トヨタカローラ静岡(株) ●(株)マツヤ
進学 【7名】		●信州大学農学部(編入) ●東京農業大学生物産業学部(編入) ●新潟大学農学部(編入) ●エプソン情報技術専門学校 ●タキイ園芸専門学校 ●日本自然環境専門学校 ●新潟農業バイオ専門学校
	その他【7名】	